

HELES, JCA Hokkaido, JACET Hokkaido - Joint Meeting 2015

## HELES・JCA 北海道支部・JACET 北海道支部

2015 年度 合同研究会

Photo: <http://bit.ly/1vrRPzu>

- Date** 日付: Sunday, March 6, 2016 2016年3月6日(日)
- Registration** 受付: 12:30
- Study Meeting** 研究会: 12:55 - 16:55
- Venue** 会場: Sapporo City University, Satellite Campus  
札幌市立大学サテライトキャンパス
- Registration Fee** 参加費: Free 無料

札幌市立大学サテライトキャンパスへのアクセス

(<http://www.scu.ac.jp/access/satellite/>)

札幌市中央区北4条西5丁目  
アスティ45 12階

**近隣各駅からの徒歩時間**

地下鉄さっぽろ駅徒歩3分

JR 札幌駅徒歩4分

地下鉄大通駅徒歩7分



Photo: [bit.ly/1PeYKSX](http://bit.ly/1PeYKSX)

## PROGRAM プログラム

**12:30** Registration 受付

**12:55 – 13:00** Opening 開会式

**13:00 – 13:25** Presentation 1 研究発表①

HELES : 北海道英語教育学会スピーキング研究会

「中学校改訂版教科書のタスク性に基づく比較」

志村 昭暢（北海道教育大学札幌校）

中村 洋（寿都町立寿都中学校）

照山 秀一（石狩市立聚富小学校）

**13:30 – 13:55** Presentation 2 研究発表②

HELES

「生徒の心を動かす、教科書を活用した授業の実践」

小野 祥康（北海道教育大学附属旭川中学校）

**13:55 – 14:00** Break 休憩

**14:00 – 14:25** Presentation 3 研究発表③

JCA Hokkaido

「日本語教師教育科目で言語調整について学んだ学生の追跡調査—外国人観光客のための『やさしい日本語』を用いた展示作成の試みを例にして—」

伊藤（横山）美紀（北海道教育大学函館校）

**14:30 – 14:55** Presentation 4 研究発表④

JACET Hokkaido

「フォニックス指導が読解・多読に与える影響 — 読むスピードと内容理解を中心として —」

川村 明美（東京国際大学）

松林 世志子（東京国際大学）

## PROGRAM プログラム

**14:55 – 15:20** Coffee/Tea Break 交流会

**15:20 – 16:50** Symposium シンポジウム

テーマ：「アジアの英語教育」

コーディネータ：

石塚 博規（北海道教育大学旭川校）

発表 1：

「香港のイマージョン教育について」

横山 吉樹（北海道教育大学札幌校）

発表 2：

「多言語社会香港に育つ日英バイリンガルの作文力」

佐野 愛子（北海道文教大学）

発表 3：

“English Language Teaching in Indonesia”

Sari Wurandari（北海道教育大学札幌校国費留学教員研修生

／Budi Mulia Dua Elementary School）

発表 4：

“Foreign Teacher's Perspective on English Education in Japan:

The Importance of "LowTech" Communication Skills in the High  
Tech Society of the 21st Century”

Charles McLarty（北海道情報大学）

**16:50 – 16:55** Closing 閉会式

# Abstracts 発表要旨

## Presentation 1

「中学校改訂版教科書のタスク性に基づく比較」

北海道英語教育学会スピーキング研究会

志村 昭暢（北海道教育大学札幌校）

中村 洋（寿都町立寿都中学校）

照山 秀一（石狩市立聚富小学校）

2016年4月から、中学校の教科書が一斉に改訂版に切り替わる。改定後の教科書はアクティブ・ラーニングへの対応や他教科との融合など、さまざまな趣向が凝らされている。本発表では、臼田他(2009)で行った教科書のコミュニケーション活動のタスク性分析を2016年改訂の6社の1年生用教科書について分析を試み、その特徴と違いを議論する。

## Presentation 2

「生徒の心を動かす、教科書を活用した授業の実践」

小野 祥康（北海道教育大学附属旭川中学校）

学習指導要領では、4技能を総合的に育成するために、「『聞くこと』や『読むこと』を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、『話すこと』や『書くこと』を通じて発信することが可能となるよう」に指導することを求めている。本発表では、教科書の本文の内容から、生徒の興味・関心を引き出し、自分の考えや気持ちを英語で伝えたいくなるような指導の工夫とその在り方について考察する。

## Abstracts 発表要旨

### Presentation 3

「日本語教師教育科目で言語調整について学んだ学生の追跡調査—外国人観光客のための『やさしい日本語』を用いた展示作成の試みを例にして—」

伊藤（横山）美紀（北海道教育大学函館校）

本発表では、大学生がプロジェクト型学習の一環で行った、言語調整に関する試行錯誤と学びについて考察する。発表者が担当する日本語教師教育関連の科目内では、学生に模擬授業の際の「教師の発話」や「教材に使う日本語」を、想定する日本語学習者の日本語レベルに合わせることを考慮させるために、発表者が共同研究で開発したやさしい日本語作成支援システム「これやさしいか」を利用している。本支援システムを用いることで、模擬授業の教案について教員から対面での指導を受ける前に自身で気づくことが増え、対面指導の時間を節約できるだけでなく、学びの内容も変容し、気づきが促進されていることがわかっている。本発表では、上述の一連の模擬授業活動を行った科目を履修した後に、学生が模擬授業の枠を超えた環境で言語調整能力をどのように活用できているのかを考察する。データとして、学生がプロジェクト型学習において、言い換えを行った際の試行錯誤を整理する。

## Abstracts 発表要旨

### Presentation 4

「フォニックス指導が読解・多読に与える影響 ―読むスピードと内容理解を中心として―」

川村 明美（東京国際大学）

松林 世志子（東京国際大学）

本研究の目的は、読解や多読を通して読解力や語彙力を向上させるために、明示的なフォニックス指導がどのように影響するのかを知ることである。初見で英文を音読や多読をする際、単語を音声化できないために読む速度が上がらない学習者もいる。日本人の大学生にとっては、フォニックスは新しい知識であることも多い。フォニックスを明示的に指導することで、速く読め、内容理解度も高くなり、結果的に多読が好きになるのではないかと考えた。本研究では、大学 2・3 年生 60 人を実験群（36 人）と統制群（24 人）に分け前期授業でフォニックス指導の効果を検証したところ、内容理解度と読むスピードに関して、実験群と統制群での違いはなかったが、フォニックスと読解の関係に対する学生の反応は学年差があり、内容理解度に対しては、2 年生はかなり否定的にとらえているが、フォニックス学習に関しては積極的にとらえ、今後の学習に役立てたいとしている。

# Abstracts 発表要旨

## Symposium

テーマ：「アジアの英語教育」

コーディネータ：

石塚 博規（北海道教育大学旭川校）

発表者 1：

「香港のイマージョン教育について」

横山 吉樹（北海道教育大学札幌校）

発表者 2：

「多言語社会香港に育つ日英バイリンガルの作文力」

佐野 愛子（北海道文教大学）

発表者 3：

“English Language Teaching in Indonesia”

Sari Wurandari（北海道教育大学札幌校国費留学教員研修生

／Budi Mulia Dua Elementary School）

発表者 4：

“Foreign Teacher's Perspective on English Education in Japan:  
The Importance of "LowTech" Communication Skills in the High  
Tech Society of the 21st Century”

Charles McLarty（北海道情報大学）

文部科学省が平成 25 年に公表した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」において、日本の初等・中等教育における英語教育が大きく変わろうとしている。グローバル化への対応は日本に限らず、世界的な動きとなっているが、特に語学教育の面に関して、近隣アジア諸国ではどのような取り組みが行われているのであろうか。また、日本の語学教育はどのように捉えられているのであろうか。本シンポジウムでは、日本と関係の深いアジア圏、特に香港とインドネシアにおける英語教育の特徴を知るとともに、外国人教師の立場からみた日本の英語教育の特徴について、シンポジストの発表を踏まえ、フロアの皆様と一緒に考えて行きたい。

《研究会参加申し込み》

下記のサイトからお申し込みください（締め切り：2月29日）

<http://goo.gl/forms/nlynGaAcG9>

《お問い合わせ先》

◆ HELES事務局

志村 昭暢（北海道教育大学札幌校） [shimura.akinobu@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:shimura.akinobu@s.hokkyodai.ac.jp)

◆ JCA北海道事務局

目時 光紀（天使大学） [metoki0702@gmail.com](mailto:metoki0702@gmail.com)

◆ JACET北海道支部事務局

松本 広幸（北海学園大学） [matsumoto@econ.hokkai-s-u.ac.jp](mailto:matsumoto@econ.hokkai-s-u.ac.jp)